平成二十八年度事業計画案

1、教化研究会議

●第四十九回中央教化研究会議

・期日　九月七日（水）～八日（木）予定

・会場　宗務院

・教区教研運営委員や関心のある本宗教師の出席。

・運営会議を開き、内容を協議し、企画・運営などの要綱を決定する。会議資料を作成する。

●地域教化研究会議の開催運営

・全十一教区での開催運営。

・中央教研との関連を踏まえ、各教区・管区で教化の現場に関連するテーマを企画し、教化研究の充実を図る。

・教研運営委員と協議し、地域の独自性を加味し、企画・準備・運営に取り組む。

2、研究部門

●日蓮教学の現代化。中央教研や教化学研究発表大会の成果を踏まえ、研究員を中心に教学の現代化について研究を行う。

●教化学の研究。教化のあり方、現代教化の方策を研究し、必要に応じて、管区単位での教化学研究集会を開催する。

●教団論の研究。現代の諸問題に対応した教団のあり方について研究をすすめる。

●新宗教研究。法華系新興教団を中心に、研究を行う。

●立正平和の研究。宗門運動「立正安国・お題目結縁運動」における世界立正平和活動の問題を中心に研究する。

●教団史研究。近代日蓮教団史について、他教団との関わりを鑑みながら研究する。年次年表の作成。

●必要な研究調査のため、研究員・顧問・嘱託で分担してプロジェクトチームを構成する。

●研究例会。研究員各自のテーマをそれぞれの立脚点として、研究を継続し、成果を発表する。

●現宗研ウェブサイトをリニューアルし、運用する。また、諸資料のデータベース化、各種事業の公開な

ど新たな布教伝道方法を研究する。

●「教団付置研究所懇話会」「日本近代仏教史研究会」等への参加。

●その他

3、調査部門

●法華系新興教団を中心として、他教団の活動を調査する。

●過疎地域寺院活性化検討委員会・伝道部と連携を計りつつ、過疎地域寺院の実態調査を継続し、対策を検討する。

●必要に応じてアンケート調査・現地調査を実施する。

●その他

4、資料部門

●日蓮宗アーカイブズ構想の推進。宗門の公式資料の収集整理保管。

●各教化センターとの教化研究、布教資料などの交流を図り、収集に努める。

●図書を購入し、コンピュータで蔵書を管理し、ウェブ上で検索できるシステムの構築につとめる。

●視聴覚資料の購入・保管。

●創価学会・顕正会など法華系新興教団に関する資料を収集し、保管する。

●その他各種教化資料を収集し、保管する。

●「現代宗教研究」第五十一号の発行。

●「平成二十七年日蓮宗年表」の発行。

●教化シリーズの発行。

●その他

5、会議

●教化センター連絡会議を開催し、教化センター間の交流、情報交換などを行う。

●教区教化研究会議連絡会議を開催し、各教区の教研運営委員とともに各教区教研間の協力と調整を図り、一層の充実を目指す。

●研究員会議・顧問会議・嘱託会議の開催。

●第十七回教化学研究発表大会の開催。

●第二十六回法華経・日蓮聖人・日蓮教団論研究セミナーの開催。

●その他